

第2回 サステナブルスチールセミナー 開催のご案内

鉄鋼業界のカーボンニュートラルに向けた取り組み

- 開催目的： 日本鉄鋼連盟では、地球温暖化防止、循環型社会の構築、自然との調和などに貢献する鋼材の優れた環境性能をご理解いただくため、建設に携わる方々を広く対象に、「サステナブルスチールセミナー」を開催しております。
今回は「CN 実現に向けた取り組みと鉄鋼業の役割」、「日本鉄鋼業におけるカーボンニュートラルの実現に向けた取り組み」、「国際的ガイドライン等におけるリサイクル効果の考え方」、「カルシア改質土の概要及び適用事例と今後の展望」について講演いたします。
ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしております。
- 日 時：2023年9月27日（水） 13：30～16：45
- 開催方法：ライブ配信(9/27)+アーカイブ配信(10/4～10/18)
- 受講対象：ゼネコン、設計会社、施主、商社などの鉄鋼ユーザー、鉄鋼メーカー、研究者など（対象制限なし）
- 受講料：無 料
- 申込方法：鉄連ウェブサイト(<https://www.jisf.or.jp>)
各種ご案内 > 催し物のご案内 > 第2回サステナブルスチールセミナーからお申込みください。
- 申込締切：2023年9月20日（水）12:00(正午)
- 問合せ先：一般社団法人 日本鉄鋼連盟 業務部 市場開発グループ
TEL：03-3669-4815 E-mail：sss@jisf.or.jp
- 注意事項：(1)本セミナーは、土木学会CPD制度の認定プログラムです。
(2)本セミナーは、建築士会CPD制度の認定プログラムです。
(3)土木学会以外の団体に提出する場合の方法等は提出先団体に事前にご確認ください。
(4)CPDの認定対象はライブ配信の受講者のみとなります。
(5)日本鉄鋼連盟では、株式会社トライに、本セミナーの運営業務を委託しております。個人情報の取扱いについては本セミナー以外の目的には使用しない旨、同社と覚書を交わしております。



以上

第2回 サステナブルスチールセミナー

鉄鋼業界のカーボンニュートラルに向けた取り組み

日時：2023年9月27日（水）13:30～16:45 オンライン開催（ライブ配信+アーカイブ配信）

13:30～13:35	開会挨拶 日本鉄鋼連盟 建設環境研究会 委員長 吉田 仁
13:35～14:25	-基調講演- CN 実現に向けた取り組みと鉄鋼業の役割 秋田大学 国際資源学研究科 准教授 小田 潤一郎 カーボンニュートラル(CN)の実現を真に目指す場合、どのような技術普及が必要となるか概観する。洋上風力、CCS は CN に向けてとりわけ注目される技術であり、これらの普及には事実上、鋼材使用が欠かせない。洋上風力、CCS 普及に要する鋼材量の規模について示す。また、日本の鉄鋼業にて CO ₂ 排出削減を進める上での課題や問題意識についても紹介する。
14:25～15:05	-講演- 日本鉄鋼業におけるカーボンニュートラルの実現に向けた取り組み 日本鉄鋼連盟 建設環境研究会 副委員長 平川 智久 日本鉄鋼連盟は我が国の 2050 年カーボンニュートラルという野心的な方針に賛同し、日本鉄鋼業としてもこの実現に向けて果敢に挑戦することを宣言した。また、その挑戦の最中でも市場への低炭素鋼材の供給を可能とすべくマスバランス法によるグリーンスチールの普及に向けたガイドラインを策定した。本講演ではこれらの宣言やガイドラインに基づく取組みの内容と現状を紹介するとともに、既に規格化されている鉄のリサイクル効果を反映した鉄鋼製品の LCI 手法の考え方を解説する。
15:05～15:20	休憩
15:20～16:00	-講演- 国際的ガイドライン等におけるリサイクル効果の考え方 東京大学先端科学技術研究センター 准教授 醍醐 市朗 製品のライフサイクルでの温室効果ガス排出量の算定に対する GHG プロトコルの規格（2011 年）、製品の環境フットプリントの算定に対する欧州のガイダンス（2018 年）、製品のカーボンフットプリントの算定に対する英国規格（2011 年）ならびに国際規格（2018 年）では、リサイクル効果を反映することを要請している。これは、二次資源の利用や回収にともなう負荷や負荷回避（クレジット）を考慮することである一方、その算定方法はいまだ議論が残る課題であることを解説する。
16:00～16:40	-講演- カルシア改質土の概要及び適用事例と今後の展望 五洋建設株式会社 顧問 中川 雅夫 カルシア改質土は港湾工事から発生する軟弱浚渫土に製鋼スラグを混合することで浚渫土を改質し、土地造成や港湾工事用材料として有効利用する技術である。本講演では、カルシア改質土の特徴、設計・施工法と適用事例を紹介し、CN 社会に向けた今後の適用拡大についても展望する。
16:40～16:45	閉会挨拶 日本鉄鋼連盟 建設環境研究会 委員長 吉田 仁

（都合により時間・演題・講師が変更になる場合があります）

（敬称略）